

<2年 算数 令和6年度 評価規準>

単元名 目標		1. わかりやすくあらわそう [グラフとひょう]	2. たし算のしかたを 考えよう [たし算のひっ算]	3. ひき算のしかたを 考えよう [ひき算の ひっ算]	4. 長さをはかって あらわそう [長さの たんい]	5. 100 より大きい数を しらべよう [3けたの 数]	6. 水のかさをはかって あらわそう [水のかさのたんい]
		4月・3時間	4/5月・8時間	5月・8時間	6/7月・9時間	6月・12時間	6/7月 ・8時間
知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。	身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができる。	2位数の加法計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。	2位数の減法計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。	長さについて単位と測定の意味や、単位の関係、物差しの目盛りの仕組みを理解し、およその見当を付け長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定したり、指定された長さの直線をひいたりすることができる。	3位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を用いて表したりすることができる。	体積について単位と測定の意味や、単位の関係を理解し、およその見当を付け体積の単位を適切に選択して身の回りに入る水の体積を測定することができる。
思考力・判断力・表現力	日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。	データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察している。	数の仕組みに着目し、2位数の加法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。	数の仕組みに着目し、2位数の減法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。	普遍単位の必要性に気づき、身の回りのものの特徴を長さに着目して捉え、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。	10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。	長さの学習を基に、普遍単位の必要性に気づき、身の回りに入る水の特徴をその中に入る水の体積に着目して捉え、目的に応じた単位で体積を的確に表現したり、比べたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	身の回りの事象に関心を持ち、表やグラフを用いて数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	2位数の加法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	2位数の減法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	身の回りにあるものの長さに関心を持ち、量の感覚を身に付け、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	10や100のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	身の回りに入る水の体積に関心を持ち、量の感覚を身に付け、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

	7. 時計を生活に生かそう [時こくと時間]	8. 計算のしかたを くふうしよう [計算のくふう]	9. ひっ算のしかたを 考えよう [たし算とひき算の ひっ算]	10. さんかくやしかく の形をしらべよう [長方形と正方形]	11. 新しい計算を 考えよう [かけ算(1)]	12. 九九をつくろう [かけ算(2)]	13. 1000 より大きい 数をしらべよう [4けたの数]
	7月・2時間	9月・5時間	9月・10時間	9/10月・10時間	10/11月・22時間	11/12月・17時間	1月・11時間
知識及び技能	時刻と時間の区別、及び日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、時刻や時間を求めたり、表したりすることができる。	加法の結合法則や()の用い方を理解するとともに、簡単な加減法の暗算ができる。	2位数の加法及びその逆の減法の計算について、1位数などの基本的な計算を基にできることを知り、それらの筆算の仕方について理解し、筆算の手順を基に確実に計算することができる。	三角形や四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解するとともに、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図したりすることができる。	乗法が用いられる場合や乗法九九について知り、乗法の意味や乗法に関して成り立つ性質(乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則)を理解し、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九(5, 2, 3, 4の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。	乗法九九について知り、乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にするとともに、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九(6, 7, 8, 9, 1の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。	4位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。
力・思考力・表現力・判断力	時間の単位に着目し、図などを用いて時刻と時間の求め方を考え、説明している。	()の中を1つの数とみて、式の意味を考え表現したり場面を式に表したりするとともに、3口の数の加法計算について、数量の関係に着目し、結合法則などを基に工夫して計算している。	既習の筆算を基に、数の仕組みに着目し、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。	辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見だし、説明している。	数量の関係に着目し、累加の考えや乗数と積の関係などを基に、乗法九九の構成の仕方を考え表現している。	数量の関係に着目し、乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、乗法九九の構成の仕方を考え工夫し、表現している。	数のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	加減の計算方法について、計算法則、数の見方や構成を活用して考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	2,3位数の加減の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	身の回りにあるものの形の中から、三角形や四角形、長方形や正方形などを見つけ図形としてとらえ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や乗法のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や、乗法について成り立つ性質やきまりを用いることのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	数のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

	14. 長い長さをはかって あらわそう [長いものの長さのたんい]	15. 図をつかって考えよう [たし算とひき算]	16. 分けた大きさの あらわし方をしらべよう [分数]	17. はこの形をしらべよう [はこの形]
	1/2月・6時間	2月・5時間	2月・5時間	2/3月 ・5時間
知識及び技能	長さについて単位と測定の意味や、単位の関係を理解し、およその見当を付け長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定し表現することができる。	加法と減法の相互関係について理解し、加法と減法の相互関係を表した図を用いて、図や式に表し、問題を解決することができる。	具体物を操作することなどによって、1/2 や 1/3 などの簡単な分数について知り、いくつかにつかに等分した大きさの1つ分をつくりそれらの大きさを分数を使って表すことができる。	箱の形をしたものの構成要素について理解し、正方形や長方形を組み合わせた、ひごなどを用いたりして、箱の形を構成することができる。
表現力 思考力・判断力	上位単位の必要性に気づき、身の回りのものの特徴を長さに着目して捉え、既習の学習を基に長いものの長さを表す単位について考えている。	数量の関係に着目し、場面を図に表して構造をとらえ、式について考え表現している。	元の大きさと分けた大きさの関係や、分けた大きさは全て等しいことに着目して分数について考えたり、2つの数量の関係に着目して倍や分数の意味についてとらえたりしている。	頂点、辺、面などの図形を構成する要素に着目し、箱の形の特徴を見だし、説明している。
主体的に学習に取り組む態度	身の回りにあるものの長さに関心を持ち、量の感覚を身に付け、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	加法と減法の相互関係に関心を持ち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	具体物や図などを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	身の回りにあるものの形の中から、箱の形をしたものを見つけ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。